



Rockustics Escape シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

適切に設置することでスピーカーは何年も最適リスニングを楽しむことができます。

スピーカーには様々な取り付けオプションが用意され、ほぼすべての屋外スペースに対応し完全なプライベート音響空間と、素晴らしいオーディオを提供できます。

設置場所の準備

RockusticsのPeriscapeスピーカーの取り付け場所を選択する際に考慮すべき要素がいくつかあります。

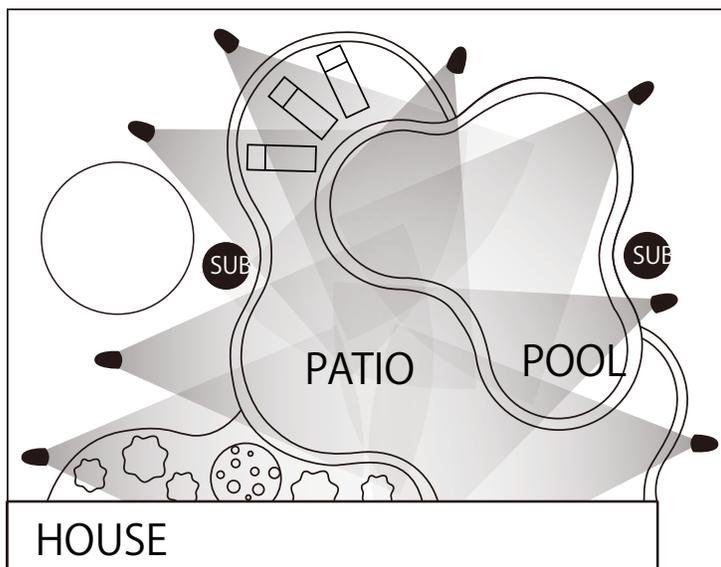
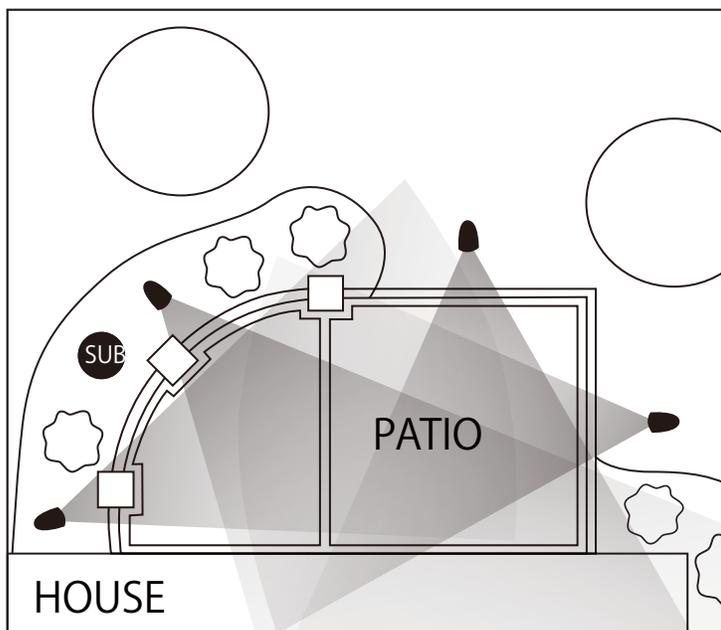
- スピーカーは、付属のグランドスパイク金具で地面に取り付けるか、オプションの壁取り付けプレートで壁または垂直面に取り付けることができます。
- リスニングエリアからスピーカーが直視できることが必要です。
- 各スピーカーをリスニングエリアからすべて同じ距離になるように配置します。

- ハイとローのスピーカーの位置を使用すると、音響、ステージを集中管理するのに役立ちます。
- スピーカーをリスニングエリアから38~51cm程度離しますが、76cm以内に配置してください。
- 必ず人の往来が少ない場所や、造園機器が頻繁に通らない場所を選択してください。
- スピーカーを水がたまりやすい場所に置かないください。
- スピーカーをスプリンクラーの前に配置したり、スプリンクラーの水を直接当てないください。
- スピーカーを水平から45°以上に向けないください。
- 追加の取り付け深さを必要とする設置には、スパイクマウント拡張が利用可能です。

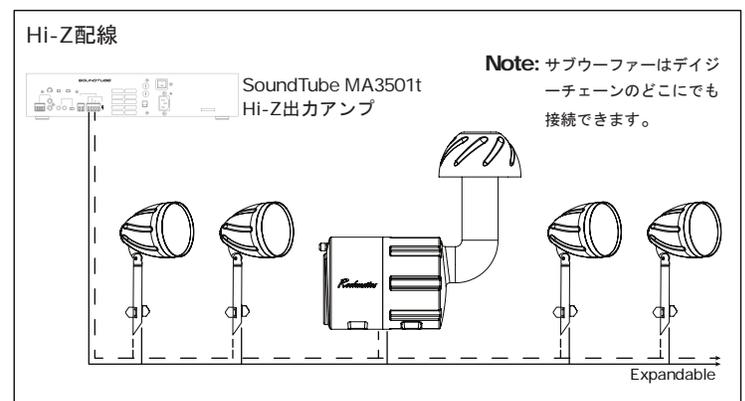
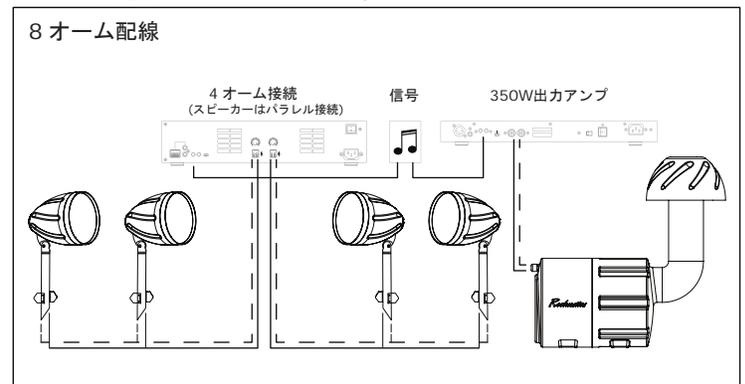
考えられるすべてのインストール構成を予測または対応することはできません。許容可能なオーディオ分散を実現するには、試行錯誤の上、最適な設置をする必要があります。

最小のシステムとして4台のPeriscopeスピーカーと1台のSubscopeサブウーファーでの構成をお勧めします。単一のサブウーファーでも最大8つのPeriscopeスピーカーを使用できますが、8つ以上のPeriscopeユニットを設置する場合は、2つ目のサブウーファーを追加することをお勧めします。スピーカーとサブウーファーの最終的な数は目的のスペースと必要なカバレッジによって異なります。設置するスピーカーの最終数に対応するために、十分なアンプの出力を考慮する必要があります。

参考のため、典型的なインストールレイアウトを載せます。

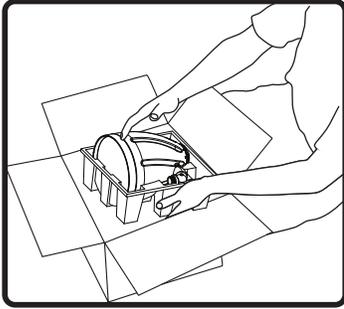


PeriscopeおよびSubscopeスピーカーはすべてHi-Zトランスを装備しており、8オームモードで実行することもできます。スピーカー背面のタップスイッチには、さまざまなタップ設定と、システムのインストールとチューニングを最大限に柔軟に行えるトランスバイパスオプションを提供します。典型的なHi-Z接続および8オームの配線の構成については、以下の図を参照してください。

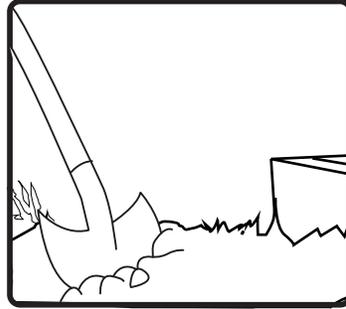


Periscopeスピーカーの設置

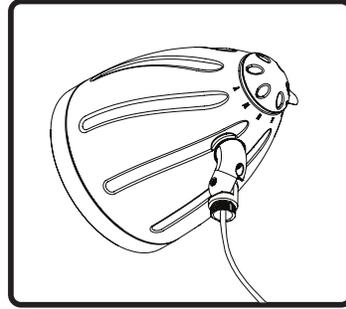
- Rockusticsは、AWG14またはAWG16の直接埋設定格ケーブルの使用を推奨しています。
- スピーカーを設置する前に、目的のスピーカー位置にケーブルを配置することをお勧めします。スピーカーを取り付けてシステムのテストが完了したら、スピーカーケーブルを7~13cmの深さまで埋めます。



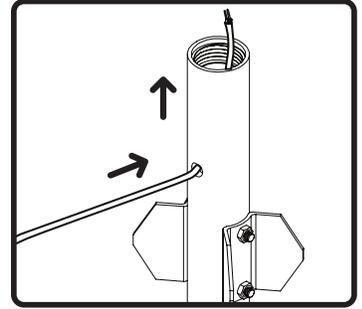
1. 箱からスピーカーを取り出します。



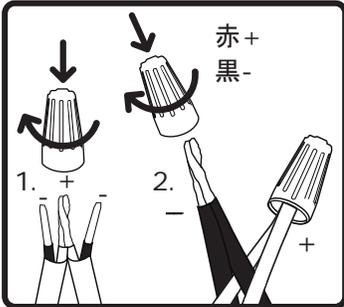
2. 地面に設置する場合は、直径15~21cm、深さ20cmの穴をスピーカーが設置される正確な場所に掘ります。



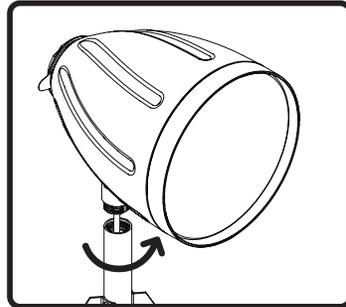
3. スピーカー構成に合わせてケーブルの端を剥がして準備します。



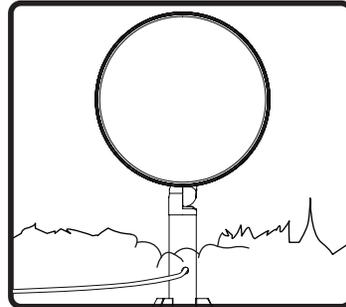
4. アンプからのケーブルを取り付けスパイクの側面の穴に通し、上端から外します。デジチェーン接続する場合は、次のスピーカーのケーブルを穴に通し、同様に上部から外します。取り付けスパイクの底部からスピーカー線を通さないでください。



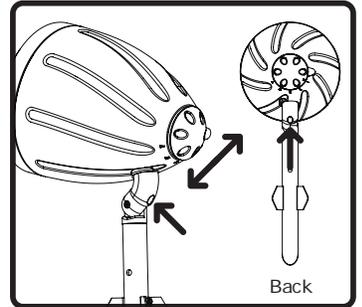
5. スピーカーからのケーブルを適切な長さに切り取り、付属のシリコンワイヤナットを使用して、スピーカーからのプラス線を入力ケーブルのプラス線に接続します。デジチェーン接続する場合、チェーン内の次のスピーカーのプラス線も必ず接続してください。マイナス線でこの手順を繰り返します。



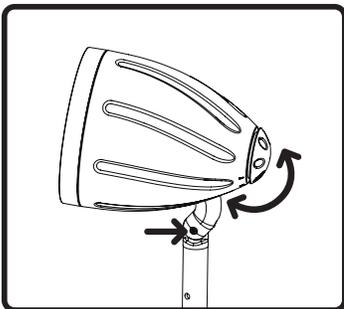
6. ワイヤナットとスピーカーケーブルを取り付けスパイクの内側に置き、スピーカーを取り付けスパイクねじ込みます。スパイクをスピーカー取り付けフランジに完全に締めてください。穴の側面から出ているスピーカーケーブルを静かに引っ張って、取り付けスパイク内の余分なケーブルを取り除きます。



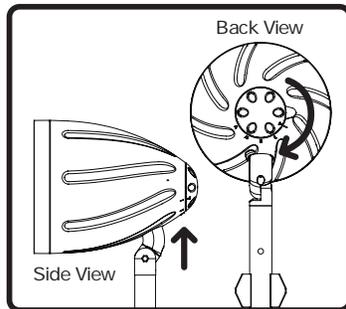
7. 穴にPeriscopeスピーカーを置き、意図した方向に向けられるようにします。スピーカーは、ケーブルが地面より少なくとも3cm下に埋まることができるように、地面に十分深くなければなりません。穴を埋め戻します。



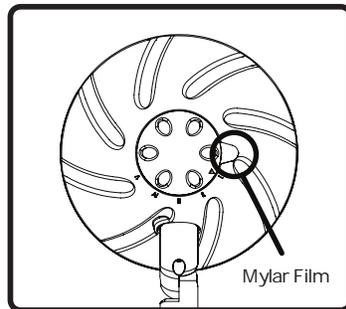
8. 付属の六角レンチを使用して、スピーカーの照準を微調整できます。グースネックアダプターの底部のネジを緩め、スピーカーをゆっくりと目的の位置に回転させ、ネジを締め直します。



9. 取り付けブラケットアセンブリの側面のネジを緩めて、垂直照準（傾斜照準）を調整します。スピーカーを目的の傾斜角度に調整し、ネジを締め直します。スピーカーを水平から45°以上の角度に調整しないでください。



10. 後部のタップスイッチを使用して、インストールに適したタップ設定を選択します。4ページのタップスイッチ表を参照して、どマークに対応しているかを確認してください。

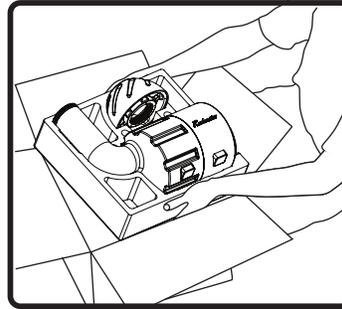


11. タップ設定が確定され、システムのパフォーマンスが承認されている場合、露出したタブを引っ張って、タップスイッチノブの下からマイラフィルムを取り外します。タップスイッチをスピーカーに押し、タップスイッチを所定の位置にロックします。

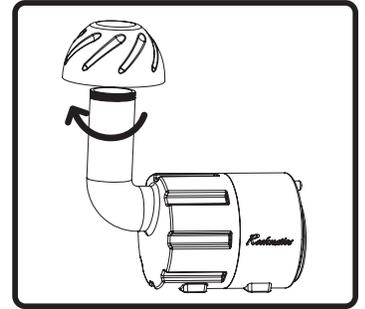
注-ノブを所定の位置にロックした後にタップ位置を再設定するには、タップスイッチノブをスピーカーから慎重に取り外します。タップスイッチを希望の設定に再配置し、タップノブを押して元の位置に戻します。ノブは新しい位置にロックされます。必要に応じて、スピーカーの背面にある短いピンを切断することにより、タップスイッチのロック機構を永久に無効にすることができます。タップノブを取り外し、スピーカーの背面にあるロックピンを切り取り、ノブを交換します。

サブスコープスピーカーの設置

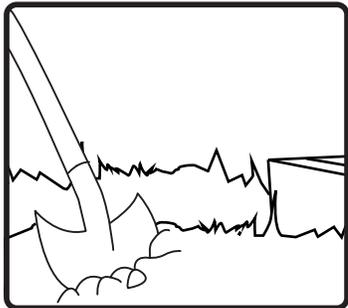
- サブウーファーの下に10~15cmの碎石または砂利層を追加することをお勧めします。これにより、スピーカーが地下水から保護され、霜の発生が最小限に抑えられます。
- すべてのサブスコープサブウーファーは、ベントチューブカバーの下端が地面より8~13cm上になるように取り付ける必要があります。
- サブウーファーの穴を埋め戻す前に、システムを完全に配線し完全にテストしてください。



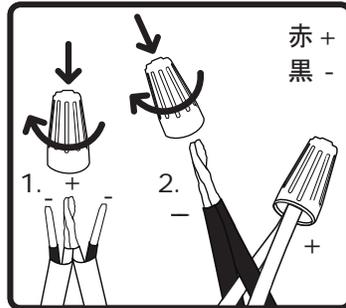
1. 箱からスピーカーを取り出します。



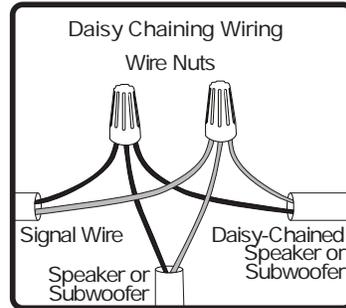
2. キャップをポートチューブの端に時計回りに通して取り付けます。



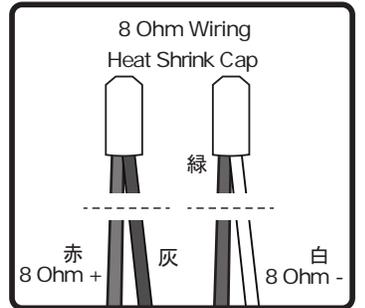
3. スピーカーを正しい深さまで埋めるのに十分な穴を掘ります。サブウーファーハウジングの下に10~15cmの砂利または碎石も収容します。



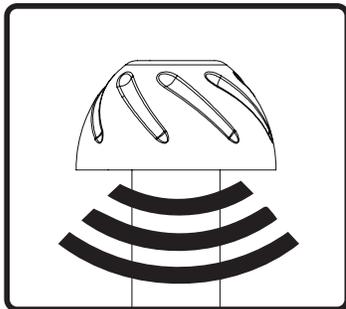
4. Hi-Zの場合、下のチャートから適切なタップワイヤを選択し、アンプからの入力ワイヤに接続します。



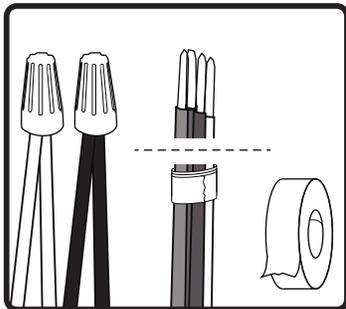
5. デイジーチェーン接続する場合は、チェーン内の次のスピーカーにも配線を接続してください。また、サブウーファーがPeriscopeユニットと同じ極性で配線されていることを確認してください。



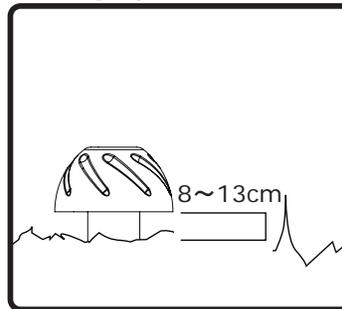
6. 8オームの動作では、赤、グレー、緑、白のワイヤペアを見つけ、各ペアの熱収縮キャップを切り取ります。付属のシリコンワイヤーナットを使用して、アンプからのプラスのリード線を赤のワイヤーに接続し、アンプからのマイナスのリード線を白のワイヤーに接続します。灰色と緑色のワイヤは、8オームでは使用されません。



7. システムの残りの部分を完全に配線し、システムが正常に動作していることをテストします。



8. サブウーファーの未使用のケーブルを切り取り、テープまたはケーブルを腐食から保護するための適切な手段でゆるんだ端を加工します。



9. サブウーファーの穴を埋めます。

Periscope タップスイッチ 表	Switch Position	Periscope 4	Periscope 6
	I	8オーム	8オーム
	II	50W	100W
	III	26W	50W
	IV	14W	26W
	V	8W	14W

Subscope タップ線 表	ケーブル色	Subscope 8	Subscope 10	Subscope 12
	Black	Hi-Zコモン	Hi-Zコモン	Hi-Zコモン
	Yellow	300W	500W	600W
	Blue	150W	250W	300W
	Brown	76W	126W	150W